

# 2023年度 教育実践総合センター活動概要

## 1. 構成員

センター長（併任）

教授 栗原 慎二

センター担当教員

《学校教育相談実践部門》

教授 栗原 慎二（併任）

准教授 深谷 達史（併任）

《教育実践研究開発部門》

准教授（実務家教員） 中島 敦夫（併任）

准教授（実務家教員） 藤川 照彦（併任）

事務補佐員

竹ノ中亜由美

非常勤相談員

教育臨床相談 エリクソン ユキコ

壱貫田裕美（公立小学校教諭）

荒木詩織（公立中学校教諭）

山下直哉（公立中学校教諭）

参加人数：63名

### ②「UDL をブラッシュアップ！」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：2023年7月1日（土）

場所：広島市中区地域福祉センター

形態：対面・オンライン

講師：バーンズ 亀山静子（NY州公認スクール  
サイコロジスト）

川俣智路（北海道教育大学教職大学院）

参加人数：61名

## センターの概要

二つの部門を設置し，学校や教育委員会等の教育・行政機関や地域と連携を図りながら次のような活動を行っている。

教育実践研究開発部門では，高い専門性と優れた指導力を持つ教員を養成するための教育事業や研究・カリキュラム開発を行うとともに，学校の実践研究に対するコンサルテーションも行っている。学校教育相談実践部門では，現在の学校教育が抱える問題を解決・予防するための研究や，相談・支援活動を行っている。平成18年度から学校心理教育相談室（にこにこルーム）を設置し，学習や生徒指導・研究相談にかかわる心理教育的支援，学校心理学に関する教育・研究を行うとともに，学校心理学に関する研修の機会を提供している。

### ③「どうする？若手や同僚へのサポートとコンサルテーション」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：2023年9月9日（土）

場所：広島グリーンアリーナ 中会議室

形態：対面・オンライン

講師：米沢崇（広島大学）

山崎茜（広島大学）

参加人数：43名

## 2. 主催・共催による公開講演会・シンポジウム・研究会等の活動

子どもの心と学び支援セミナー

### ①「どう進める？「これからの」生徒指導」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：2023年5月3日（水）・4日（木）

場所：合人舎ウエディヒト・まちプラザ

形態：対面

発表者：山田菜央（公立小学校教諭）

小松原まい（公立小学校教諭）

門川葵（公立小学校教諭）

永田拓也（公立小学校教諭）

川俣智路（北海道教育大学教職大学院）

國嶋朝生（北海道公立小学校）

山崎茜（広島大学）

参加人数：24名

### ⑤「「家族」と「学校」から考える愛着の育ちとその支援メンバーの実践に学ぶ会」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：2024年1月20日（土）

場所：広島大学東千田キャンパス地域連携フロア

SENDA LAB

形態：対面・オンライン

講師：谷田寿幸（TAN 学校教育相談所、広島市  
スクールカウンセラー）

廣川哲男（東広島市心のサポーター）

参加人数：58人

#### ⑥「4月から活かせる生徒指導・教育相談実践WS」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：2024年3月24日（日）

場所：広島大学東千田キャンパス地域連携フロア  
SENDA LAB

形態：対面・オンライン

講師：藤本浩行（公立小学校教諭）

中井俊之（公立小学校教諭）

米田茂（広島県・市スクールカウンセラー）

山崎茜（広島大学）

参加人数：34人

### 3. 研究活動状況

センタープロジェクト研究

#### ①科学研究費助成事業基盤研究（C）

「すべての児童生徒にとって効果的な共同学習  
モデルの開発」

#### ②宮城県石巻市との協力に基づく共同研究

「学習指導の改善のための実践研究」

#### ③虐待防止のための保護者教育プログラムの開発

#### ④科学研究費助成事業挑戦的研究（萌芽）

「転移可能な実践的指導力を養う教職課程プロ  
gramの実施と多面的評価」

### 4. 教育・社会貢献事業

#### (1) にこにこルーム（学校心理教育支援室）

《学習相談》

にこにこルームの学習相談に参加した学生は  
74名。

#### ①前期（2023年5月10日から2023年7月26日）

東広島市内の小中学校から4年生以上の児童  
生徒30名を対象に，5月10日から7月26日  
までの計10回，毎週水曜日17時から18時，  
または18時15分から19時15分までの60分，  
対面で認知カウンセリングを行った。終了後，  
毎回ケース検討会を行った。

#### ②後期（2023年10月25日から2024年1月31日）

東広島市内の小学校から4年生以上の児童生

徒35名（前期からの継続を含む）を対象に，  
10月25日から1月31日までの計10回，毎週  
水曜日17時から18時，または18時15分から  
19時15分までの60分，対面で認知カウンセ  
リングを行った。終了後，毎回ケース検討会を  
行った。

#### ③その他の活動

広島市の小学6年生約80名を対象に，2023  
年8月7～11日の5日間，午後4時から7時ま  
での時間帯に，算数，外国語，社会の学習法を  
学ぶ講座を実施した。

#### 《学校臨床相談》

一年間を通じて臨床心理士と大学院生の学生  
支援員による学校臨床相談活動を実施した。1  
回の面接は50分で，原則10回～15回を上限  
とした回数限定でカウンセリングやソーシャ  
ル・スキル・トレーニング（以下SST）等を行  
った。学生支援員が担当するケースの判別は臨  
床心理士が行い，インテーク面接の実施後，学  
生が児童生徒の面接を担当した。

#### ①にこにこ広島ルーム（毎週土曜日）

広島大学東千田キャンパス内の相談室にて，  
毎週土曜日（10時～17時30分）に完全予約制  
で相談活動を行った。来談件数は13件で，延  
べ相談件数は44回（1月31日現在）。来談の  
ケースは小学校2年生～高校2年生。不登校及  
び不登校傾向，発達障害，友人関係の悩み，子  
育て不安などに関する相談等が中心であった。

#### ②にこにこ東広島ルーム（毎週日曜日）

広島大学キャンパス内の相談室にて，毎週日  
曜日（10時～17時30分）に完全予約制で相談  
活動を行った。来談件数は9件で，延べ相談件  
数は42回（1月31日現在）。来談のケースは  
小学校1年生～高校2年生。不登校及び不登校  
傾向，発達障害，対人不信，子育て不安など  
に関する相談であった。また保護者面接と同時に  
大学院生の学生支援員が子どものカウンセリング  
を担当し，並行面接を実施するなど利用者の  
ニーズに合わせた支援を実施した。今年度の学  
生支援員は3名であった。

#### ③定期ケース検討会（木曜日18時～20時30分）

前期・後期共に定期ケース検討会を実施した。  
参加学生は事前登録した38名で，臨床心理士  
及び学生支援員の担当するケースの事例検討会  
を行った。また，学級経営，児童・生徒のアセ

スメント、カウンセリング基本技法、SST技法等の勉強会を実施した。(延べ23回)

#### ④ボランティア実習

広島市内の母子自立支援施設および非営利団体での学習支援事業において学習支援ボランティア実習(最低5回以上)を対面またはオンラインで実施した。学生は実習後に毎回レポートを提出し、教員によるフィードバックを受けた。派遣した学生は26名(延べ198名)、支援受益者数は延べ308名であった(1月31日現在)。

#### ⑤集団ソーシャル・スキル・トレーニング&学習カウンセリング実習

地域の児童・生徒を対象に2023年11月2日から2024年1月25日まで計5回、対面による集団SSTを行った。参加者は対人関係の苦手な子どもや発達障害の傾向のある児童・生徒で、発達の課題が顕著にみられるグループ(小学4~6年生12名)と対人スキル向上に焦点をあてたグループ(小学4~6年生10名)に分かれ、集団SSTを学生支援員が担当し教員の指導のもと実施した。

#### (2) 学校コンサルテーション活動

概要：学校での生徒指導・教育相談に関するコンサルテーション

時期：通年(約30回)

対象：教員および保護者等

人数：延べ約200名

#### (3) 研修会及びワークショップ

概要：学校での生徒指導・教育相談に関する研修会及びワークショップ

時期：通年(約80回)

対象：教員等

人数：約2000人

#### (4) フレンドシップ事業「ゆかいな土曜日」

教育実践総合センターの教員をはじめ学内委員16名から成るフレンドシップ事業運営委員会を組織している。「地域教育実践Ⅰ・Ⅱ」「地域教育支援実習Ⅰ・Ⅱ」の授業として通年で開講した。2023年6月から12月にかけて年間6回の活動日を13時から17時の時間帯で行った(最終日のみ11時から17時の時間帯で行った)。71名の学生及び東広島市立小学校から募集した62名の児童が参加した。「わくわくワークグループ」、「びっくりかがくラボグループ」の2グループに分かれ、それぞれ児童6~9名と学生5名の4班を編成し、計8班でグループ活動を行った。

#### 5. 研究紀要の刊行

・学校教育実践学研究(第30巻)の刊行